



下曽我小学校
学校だより

梅の香

令和7年10月6日
藤本 明美
No.6

ふるさと下曽我を愛する子

夢に向かって挑戦する子

思いやる心を大切にする子

仲間とともに進んで行動する子

*記事の色はめざす子どもの姿に合わせています。

◆児童が考えつくる運動会◆

厳しい暑さがようやく和らぎ、休み時間に運動場で元気よく遊ぶ子どもたちの姿が見られるようになりました。9月下旬からは運動会の練習が本格的に始まり、10月18日(土)の本番に向け、学校全体が活気づいています。

【運動会テーマ】

団結うめっ子団 フルパワーの運動会

「うめっ子団みんなで力を合わせ、一人一人が全力を出して楽しめる運動会にしたい」という子どもたちの思いが詰まったテーマです。

【応援団からのメッセージ】

赤組 太陽のような熱い絆で 優勝だ！

応援歌はダンスの曲と重ならないようにしたいと考え、「ケセラセラ」に決めました。「優勝目指して駆け抜け」という言葉が気に入っています。みんなのやる気が出て盛り上がるような歌詞にしました。

「フレイフレイ赤組」の応援も、応援団の動きがそろうように工夫しています。

大きな声で応援するので、ぜひ赤組を応援してください！



青組 海のような深い絆で 優勝だ！

「勝つぞ!」という勢いを大事にして応援歌を考えました。曲は「紅蓮華」です。優勝への熱い思いを「本気で目指せ 咲きほこれ 勝利を照らして」という言葉で表しました。

いけいけコールも、ジャンプを取り入れて勢いのある感じにしています。

私たちのコールに合わせて、ぜひ一緒に手拍子をお願いします。



運動会では、体力向上や集団活動の規律に加え、自主性や責任感、協力する態度を育成することを大切にしています。かつてのような教員が計画し教える運動会は、たしかに準備や練習が効率よく進み、見栄えのよいものに仕上がります。しかし、自主性や責任感、協力する態度を育むためには、可能な限り子どもたちに決定権を与え、仲間とともに考えつくり上げる経験をさせることが大事だと考えています。当日の結果はもちろんですが、それ以上に、当日までのプロセスを大切に子どもたちを支援しています。

ある日の休み時間、教室をのぞくとダンス係の子どもたちが集まって動きを考えたり練習したりしていました。学習用端末を上手に活用し、ヒントとなる動きを調べたり練習用動画を作製したりと、自分たちの力で進める様子に感心しました。

ダンスは運動会の目玉種目です。入場と退場を含めて3、4曲を踊ります。3年生以上は、選曲もすべて子どもたちが行っています。また、1、2年生は教員が選曲や動きを計画しますが、グループごとに動きをアレンジすることに挑戦します。



別の教室をのぞくと、頭を寄せて真剣に相談する子どもたちに出会いました。何を話しているのか不思議に思っていると、「ブロック種目のペアと順番を考えています。」という答えが返ってきました。間違いがないか何度も確かめながら作業を進める様子に、競技を成功させようとする強い思いを感じました。

昨年度まで個人種目は徒競走に限定していましたが、今年度は「中学年80m 高学年100mを超えない」という条件だけを与え、3年生以上は子どもたちに競い方を委ねることにしました。誰もが体を動かすことを楽しみながら体力の向上を図ってもらいたいと考えたからです。その結果、徒競走と障害走の選択制や怪盗が宝を手に入れる設定を加えた競走など、様々な形の個人種目が子どもたちによって考えられました。

勝敗はもちろんですが、一つ一つに子どもたちの思いや考えがあることを感じながら、一緒に運動会を楽しんでいただきたいと思います。応援よろしくお祈りいたします。

◆いじめ予防教室◆

9月8日(月)、5年生を対象に弁護士の畑福生氏による授業が行われました。

県内で実際に起こった事例から5件の嫌がらせを提示され、子どもたちは「強いいじめ」「弱いいじめ」「いじめではない」のどれに該当するかをグループで話し合いました。

「これをやられたら絶対嫌だね。」「強いいじめじゃない?」「これはやり返しているからいじめじゃないのかな。」「でも悲しい気持ちになっているよね……。」

状況や嫌がらせを受けたときの気持ちを想像しながらも、グループでなかなか考えがまとまらず判断に迷う子どもたちの姿が見られました。



畑弁護士は子どもたちの意見を聞きながら、嫌がらせを受けた子がつらいと思ったらそれはいじめであること、つらさの感じ方は人によって違うことを教えてくださいました。そして、心をコップに、つらい気持ちを水に例えて説明していただきました。



「小さいいじめでも、度重なれば水はあふれてしまいます。水があふれて1滴でもこぼれれば、心の病気になったり死を考えたりします。だから、水を抜くことが大切です。周りの人に話してつらい気持ちを吐き出すことは、水をコップからあふれさせない一つの方法です。」

授業の後半では、「いじめの四層構造」についても学びました。



〈子どもたちの感想から〉

- 気づかぬうちに自分がやったことが、いじめになるかもしれないと思った。
- 自分は大丈夫でも、相手は大丈夫ではない場合もあることが分かった。
- 声をかけるだけでも、いじめられたつらい気持ちを楽にさせることができるのだと思った。



友達の気持ちに気付ける子、困っている友達に手を差し伸べられる子になってほしいと思います。

◆「ありがとうございます」◆

来校者や地域の方から「下曽我小の子どもたちは挨拶がよくできますね。」とほめられることがあります。先日も、子どもたちが「ありがとうございます」という言葉を自然に使っていると感心されました。この言葉は「有ることが難しい」つまり「めったになく貴重である」という意味に由来しています。誰かが自分のためにしてくれたことを「当たり前ではなく貴重なこと」と感じる心をこれからも大切に育てていきたいと思います。



◆第2回学校運営協議会◆

10月3日(金)に学校運営協議会を行いました。授業参観の後、全国学力・学習状況調査(6年生)や今後の学校行事、100周年記念事業について意見をいただきました。

全国学力・学習状況調査については、言語力が話題になりました。正確に読み取ったり、自分の考えを分かりやすくまとめる力を育成するために、主体的な授業を展開していくことを確認しました。また、家庭においても会話を大切にし、コミュニケーションを楽しみながら思考や言語、知識を深めていくとよいという意見が出されました。規範意識に関する質問紙ではいじめに対する指導の重要性を再確認しました。

100周年記念事業については、昨年度計画していたグラウンド整備と樹木の伐採、剪定を今年度引き続き行っていくことを報告しました。

◆お知らせ◆

○小田原ちようちん光アートフェアが小田原城址公園本丸広場で開催中です。市内の小学生が作った小田原ちようちんが、10月19日(日)まで展示されています。本校は6年生が参加しています。ライトアップは17時から21時です。



📄 行事予定はこちらからご確認ください。



📄 学校 HP もご覧ください。

https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimosoga_s